

AZABU ALPINE CLUB

ALUMNI NEWSLETTER

麻布学園山岳部 OB 会報第十号 - 2009 年 6 月 1 日 - 発行者 AAC OB 会理事会

月日が経つのは本当に早いものです。ニューズレター第9号を発行してから、もう1年が過ぎてしまいました。ホームページで随時お知らせしている通り、現役部員は20名を超え、活発に活動を続けています。この春には、OB会も新入会員を迎えることができました。

総会開催

5月9日(土)午後、麻布学園 地下食堂で2009年度の総会が開かれました。参加した会員は23名で、昨年を上回る人数になりました。

武藤会長からの開会挨拶につづいて、顔見せにきてくれた10数名の現役部員たちに、ボゴタ峰トレッキングの記念Tシャツと『岩燕』第9号がOB会から贈られました。

鮫島副理事長の司会のもと、2008年度活動報告、一般会計報告、山荘会計報告、監査報告が承認されました。顧問の増子先生からも、お仕事の合間を縫ってご挨拶をいただきました。「部員の増加と顧問教諭の世代交代の時期を迎え、今まで以上にOB会のサポートを期待します」とのお話でした。また、2年ぶりに迎えた新入会員6名(藤森直君、金丸俊太郎君、卯尾和音君、佐藤和秀君、榊原亮哉君、毛利浩明君)のうち出席の4名に、会長から記念のペナントが手渡されました。

閉会後は同じ会場で懇親会にうつり、例年のように日が暮れるまで、久しぶりのにぎやかな語らいがつつぎました。



写真は現役の北海道夏合宿と安達太良春合宿より

平成20年度会計報告

■ 一般会計

収入の部		支出の部	
会費	275,000	山荘税金	80,790
総会余剰	1,365	通信連絡費	109,115
利息	465	合宿同行費用	62,421
		サーバ費用	37,800
		雑費	2,176
収入合計	276,830	支出合計	292,302

当期収支	-15,472
前期剰余	486,201
当期末剰余	470,729

■ 山荘会計

収入の部		支出の部	
山荘使用料		ガス代	32,590
会員大人	71,000	電気代	96,418
会員小人	500	水道代	42,000
非会員大人	223,500	灯油代	25,000
非会員小人	24,000	事務消耗品	1,367
暖房費	16,000	修繕費	17,000
雑収入	131,034	支払手数料	1,050
		蜂取り代	6,000
収入合計	466,034	支出合計	221,425

当期収支	244,609
前期剰余	31,274
当期末剰余	275,883

会員往来

昨年度、会員お二人が亡くなられました。心よりご冥福をお祈りいたします。

- ・ 岩生 義さん (昭和34年卒)
2009年2月26日
- ・ 一杉正治さん (昭和29年卒)
2009年4月2日

AZABU ALPINE CLUB

ALUMNI NEWSLETTER

麻布学園山岳部 OB 会報第十号 - 2009 年 6 月 1 日 - 発行者 AAC OB 会理事会

会員近況

今回は昭和 26 年、36 年、46 年、56 年卒業の会員にお願いしたところ、次の 7 名の方から、近況が寄せられました。

■ 内田孝 (S26 年卒)

昨年あたりからすっかり出不精になり、今年になってから出かけたのは、3 月末に朝比奈切通しから鎌倉と逗子の市境をたどり、和賀江島のところまで歩いただけです。ただ、このままでは足腰が弱ってしまうので、天気良ければ池上の本門寺周辺（ここは階段がたくさんあり、その登り降りですこぶは鍛えられたかんじになります）や、大森平和島からその沖合いの埋立地の公園（大井中央公園や海沿い運河沿いに幾つもあります）、さらにはお台場の公園などを、2 時間から 3 時間歩き回るようにしています。

誘いがあれば、もうちょっと動き回るようになると思います。高嶺会の企画に期待しています。

■ 岡田健 (S36 卒)



2006 年に会社を卒業した途端に大学ヨット仲間との、麻布山岳部との楽しい付き合いが再開しており、2006 年の麻布ボゴダ峰遠征では早速「馬將軍」の異名を頂戴したが何とか一緒に帰って来られました。

2007 年には大学ヨット同期 5 人で南太平洋タヒチに行きヨットレースに参加、ゴールのボラボラ島にラストで到着しながら、クラス 2 位を受賞したり、2008 年には 1 年間滞在していたモンゴル国首都ウランバートルに麻布山岳部 OB の方々が来られ総勢 36 人（うち日本人 11 人）車 9 台でモンゴル田舎へのキャラバン旅行をし、山岳部時代のあだ名サンペイがモンゴル友人たちにも知れ渡ってしまいました。モンゴル植林運動中です。

■ 松宮幹彦 (S46 卒)

ご無沙汰しておりますが、皆様お元気ですか？三男が関東学院大に入学しまして、あと 4 年！このご時世で、音楽の道で稼ぐのも何かと厳しくなっておりますが、グワンバッテおります。

三月初め、ヘグム（韓国の二胡）奏者 コッピョルの CD (Yellow Butterfly - PonyCanyon, PCLD00048) 録音に、ソウルへ行って来ました。二日で四曲収録。松宮曲・彼岸花も二重奏一発取りで、良い作品に仕上がりました。旅気分に入る余裕は余りありませんでしたが、打ち上げで初食した、うなぎの稚魚？ コム・ジャンゴ？？は珍味+美味でした～。宣伝ばかりで恐縮ですが・・・7/8 に昼下がりのウクレレボッサ・ソングスという CD (KICS-1475) ができます。松宮のウクレレをフィーチャーした J ポップ・カバー集で、chido、いずみ 各アーティストがヴォーカル担当しています。

毎月 2、3 度は都内でライブしておりますので、是非おこしく下さい～～。おまちしております。あ、山とはまったく無縁で失礼しました！

(<http://www.ne.jp/asahi/juke/box/>)



■ 西原英至 (S46 卒)

港区白金で 68 床の療養型病院を経営していますが、昨今の医療費抑制政策等による受診抑制を始めとする病院崩壊の荒波の中に居ります。一方、今秋に長男の小学校受験、次男の幼稚園受験を控えており、自業自得とはいえ、定年のない一医師として、老体に鞭を入れつつ粛々と生きております。



■ 前田辰雄 (S46 卒)

大学卒業後は、住宅資材メーカーに勤務し営業マンとして北関東地区（埼玉・群馬・栃木方面）を担当していた。営業成績は最上位だったが、やりたいことがあって転職した。今は都の職員になっているが、定年を数年後に控え、将来の生活や体の健康などが気になり始める世代になってしまった。

40 歳代までは、主に武道（柔道・剣道・空手）の稽古をしていたが、最近① MTB で、周辺を半日～一日サイクリングする ② 謡（喜多流）の稽古をして、舞台上で独吟するなどで、健康維持と生活意欲向上を図っている。



■ 鈴木順二 (S46 卒)

中学 3 年のとき、母と一緒に G. レビューファの講演を聞き、映画『天と地の間に』を見てから、それまでの「虫屋」がだんだん「山屋」に転向しました。高校時代はもう山岳部一色でした。近年、虫屋時代の恋人への懐かしさがつらくなって、昨夏は浅間山系の湯ノ丸山にアサマモンキチョウに会うために登り、思いを遂げました。

仕事の方では文学から逸れて、今は畑 和助というフランスで活躍した庭師の事績を追っています。19～20 世紀にかけての 40 年余り、富豪らに気に入られてパリ近郊で日本庭園を造り続けた変わり者ですが、今ではすっかり忘れられています。各地に散在する断片的な資料から史実を再構成する作業は、推理小説さながら謎解きの連続です。



■ 中村仁 (S56 年卒)



大学卒業後、紆余曲折を経て、現在は、都市計画・まちづくりのコンサルタントの仕事で個人でしています。同時に、東京大学（都市工学専攻）で非常勤の研究員、明海大学（不動産学部）で非常勤講師などもしています。木造密集市街地の環境改善に関する研究で博士号を取得したので、その分野が最も詳しいといえますが、防災、住環境、景観、みどり、福祉など幅広い分野で仕事やボランティア活動をしています。

写真は、行政が進める道路事業に対して、住民が対案を検討するための現地イベントの準備をしているところです（手前が筆者）。残念ながら、近年は山には全く登っていませんが、まち歩きは大好きで、一番の趣味です。

連絡先：

藤田信一

〒108-0072 東京都港区白金 6-4-12 ■

本人および現役の提供による写真を使用しました。